



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 豊後大野市社会福祉協議会

〒879-7153 豊後大野市三重町玉田 1128 番地 豊後大野市三重農村環境改善センター内
TEL 0974-22-6677 FAX 0974-22-3118



(写真は昨年のものです)

「千歳町助け合いの会」では年末にお正月用生け花研修会を行いました。
会員さんのご自宅では生け花で彩る華やかなお正月をお迎えました。



新年のごあいさつ

社会福祉法人
豊後大野市社会福祉協議会

会長 後藤 政美



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまには、平素より豊後大野市社会福祉協議
会の運営、諸事業の推進に格別のご理解、ご協力頂いて
いることにつきまして、厚く御礼申し上げます。昨年は
コロナ感染対策が5類に移行し、様々な制限もなくなり
従前の状態を取り戻すことに腐心した一年でした。

例えば、一度途絶えたサロン等の集いの場、交流の場
の再生は、担い手の高齢化などと相まって、容易ではあ
りませんでした。しかし、集い、交流する場の減少が、
特に高齢者等において身体的精神的影響が大きく、その
重要性を改めて痛感したところでもあります。

地域福祉の推進を責務とする私ども社会福祉協議会に
とって、その存在及び活動の重要性が一層増している
と自覚する昨今です。

少子高齢化、過疎化の進行、結果として単身世帯の増
加、人口減少、地域社会のコミュニティ機能の低下が深
刻になり、さらなる進行が避けがたい状況です。

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには
「互いに支え合う地域での仕組み」づくりが不可欠であ
り、その推進が喫緊の課題だと考えています。

行政をはじめ、あらゆる福祉団体等の皆さまと連携し
地域福祉活動計画のスローガンである「よりよい つなが
ろう あなたとわたし」を実現すべく、役職員一同さ
らなる努力を重ねたいと存じます。

おわりに、市民皆さまのご健勝とご多幸を祈念し
年頭のご挨拶とさせていただきます。

“じぶんの町をよくするしくみ”

令和5年度 赤い羽根共同募金



のご報告

10月から実施した「赤い羽根共同募金運動」では、市民の皆様のあたたかいご支援により、たくさんの善意をいただきました。

運動期間中ご支援をいただきました地域の方々、学校、事業所、各種団体の皆様には心から感謝と御礼を申し上げます。ご協力ありがとうございました。



赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金



- *10月4、6日・・・赤い羽根サポーター
- *10月27日・・・三重総合高等学校生
- *11月10日・・・藤華医療技術専門学校学生



あたたかい気持ちを
たくさん
いただきました♡

街頭募金活動

(三重町内での様子)



豊後大野市で
集まった
募金額

赤い羽根共同募金 **3,270,140** 円
(目標額 4,200,000 円)

歳末たすけあい募金 **1,206,295** 円
(目標額 2,000,000 円)

令和5年11月30日現在



豊後大野市共同募金委員会

緒方地区民生児童委員

緒方地区民生児童委員は、民生委員22名、主任児童委員2名の24名で活動しています。

孤立者ゼロのまちづくりをめざし、独居や高齢者世帯の方々が安心して生活が送れるようにと、地域・消防・警察・社協がチームとなって「あんしん訪問」に取り組んでいます。

また、月1回の定例会にて情報交換をしながら、地域に親しまれる民生児童委員活動をめざして取り組んでいます。



担当地区	氏名	担当地区	氏名
尾平・上畑・滞迫	高路木 治 光	下自在	井 上 幸 江
小原・栗生	麻 生 綾 子	馬場	牧 野 裕 子
上冬原・徳田	安 藤 純 郎	馬場	内 田 洋 子
大石・中野	野 仲 加代子	井上・野尻	羽田野 修
木野・開拓	渡 邊 秀 治	越生	高 山 善 朗
冬原・下徳田	森 下 幸 子	原尻・久土知	嶺 文 尊
上年野・柚木	衛 藤 敬 藏	野仲・小野	後 藤 民 子
小宛・寺原	須 藤 けさ代	知田・大化	周 藤 美千代
草深野・辻	足 立 月 子	天神・馬背畑	阿 南 安 幸
軸丸北・軸丸南	弓 茂 子	上犬塚・平石	佐 藤 政 憲
上自在	高 本 成 久	主任児童委員	後 藤 美知子
下自在	渡 邊 幸 治	主任児童委員	菅 澤 幸 子

豊後大野市地域包括支援センター

出前講座のご案内

費用 無料

内容 健康や介護に関する話や体操を行います

日時 平日 10:00～16:00の間
(土日祝日を除く)

時間 30分～90分程度

※業務の都合上、希望の日程に調整できない場合があります。
少人数の対応も可能です。



介護保険の上手な使い方

～介護保険制度と介護サービス～
講師：主任介護支援専門員 等

大切なお金を守る方法

～詐欺や消費者トラブルにご用心～
講師：社会福祉士 等

転倒予防のころばん教室

～ストレッチ体操とフットケア～

介護予防講座

～生活習慣と認知症の関係～
講師：保健師 等

認知症講座

～認知症の正しい理解と対応～

講師：認知症地域支援推進員
認知症初期集中支援チーム



～介護や認知症の他にも、生活の困りごとなどお気軽にご相談ください～

＜地域包括きよかわ＞ 080-5217-6432	＜地域包括おおの＞ 090-7582-4484
＜地域包括おがた＞ 080-8498-7115	＜地域包括ちとせ＞ 080-8447-2313
＜地域包括あさじ＞ 090-4161-0284	＜地域包括いぬかい＞ 090-4159-9716
＜地域包括支援センター＞ 0974-22-0505	(みえ地区は地域包括支援センターで担当します)

※ 地域包括支援センターは豊後大野市の受託事業です

エッセイ

認知症家族のおもい

今日も上機嫌

～若年性認知症の夫とともに～(3)

著者 戸上京美

三人の子どもが自立し、夫婦二人の生活が始まった。パチンコにのめり込み、仕事もままならなくなった夫に違和感を覚えて病院受診。夫は前頭側頭型認知症と診断を受けた。当時五四歳。山あり谷ありな生活が始まる。

（前回までのあらすじ）

服薬やデイサービスのお陰で夫の病状が安定しはじめた頃、夫に一枚のはがきが届いた。送り主は消費者金融。シールを剥がすと、督促状の文字と多くの数字。はがきを持つ手が震えた。嫌な予感がして夫を問いただしたが、覚えていないと悪びれない。予感の中。夫は限度額いっぱい借金をしていたのだ。私には早期退職して起業するという夢があった。そのため、コツコツと勉強と貯金に励んでいた。返済を急ぐ一心で貯金をおろし、残りを銀行から借りた。夢半ばで夫の返済のために働く自分が情けなくなつたが、後戻りもできず、なんとか完済した。

終わりのない介護と仕事の日々。ある台風の日、それは突然襲い掛かる。背中に経験したことのない激痛が走った。大雨の中、倒れた木々をよけながら、やっとの思いで病院に到着。焼石を背中に押しつけるような痛みと、何かがはじけて背中が熱くなるのを感じた。すぐに大きな病院に搬送。手術室に入る前、死ぬ怖さよりも、夫や母のお世話、家や仕事の整理など元氣な時にしてあげよかつたかと悔やんだ。

手術は八時間に及んだ。しばらくして痛みで意識が戻った。私の体に繋がれた九本の管と兄妹夫婦、甥の顔が見えた。遠方から駆け付けた息子の目からあふれた涙に、私は生きているんだと実感した。病名は大動脈破裂。助かる確率は二割。でも、私は生きていた。主治医は「あなたの心臓が生きたいと言っていたから、どうにかして助けた」と話してくれた。傷の痛みは続いたものの奇跡的に後遺症もなく、三ヶ月後に仕事復帰した。

次号に続く... (ラスト)



善意のこころ ありがとうございます

【香典返し寄付】

寄付金等 (9/1 ~ 11/30 受付まで)

【三重町】

芦刈 雄二 様・阿南 吉宏 様・関 静枝 様
佐用 政子 様・工藤 一幸 様・河野 明美 様
山下 徹 様・田平 郁 様・神田 憲一 様
村田 勝代 様・松添 完勝 様・穴見 ムツヨ 様
堀 寿史 様

【清川町】

西田 三千代 様・衛藤 健治 様・佐藤 修一 様
深田 真吾 様・津高 昭基 様・河津 森元 様

【緒方町】

足立 今朝幸 様・小代 敏行 様・伊東 絹子 様
渡邊 辰宏 様 (大分市)・後藤 幸代 様
倉原 安弘 様

【朝地町】

和田 永生 様・後藤 武徳 様・後藤 悦男 様

【大野町】

小澤 良司 様・工藤 文三 様 (東京都)
松井 博司 様・後藤 元則 様

【千歳町】

石川 周作 様・石川 幸忠 様・旭 久一 様
浦末 真治 様・妻城 久子 様
河野 春喜 様 (北九州市)

【犬飼町】

後藤 昭治 様・川野 英幸 様・後藤 守 様

【一般寄付】

佐保 榮子 様

【物品寄付】

大の葬祭 様

訂正とお詫び

第90号 (10/1号)
【緒方町】倉原スマ子様
正しくは倉原マス子様です。
訂正させていただきます。
申し訳ございませんでした。

会費実績報告 【9/1 ~ 11/30 受付分】 ※敬称略

●法人会費 <<緒方町>>・緒方モータース

ご協力ありがとうございます。

～「豊後大野市生活支援後援会」を開催しました～

令和5年10月1日(日)にエイトピアおおの小ホールにて「豊後大野市生活支援講演会」を開催しました。

大分県副知事の吉田一生氏の講演では、少子高齢化が進む中で高齢者にとっては、今後ちょっとした困りごとが今よりも増え地域での生活が維持できなくなる。地域には介護や医療サービスではカバーできない生活課題もあり、医療・介護だけでは高齢者の生活を支えることはできなくなる。生活支援は地域住民皆さんの力がますます必要となってくる。

清川町支え合いのまちづくり仕掛け人会から、仕掛け人を立ち上げた経緯、生活実態調査の必要性、生活実態調査から見た課題、取り組んだことや成果、さらに必要なことなどの報告があり、「取り組むことで改めて人と人がつながる“支え合いの輪”の大切さを実感しました。“支え合いの輪”を豊後大野市で一緒に広げていきましょう。」との呼びかけがありました。

また、12月2日(土)に千歳町でも生活支援講演会を開催しました。今回は千歳町での「支え合い活動」についての報告がありました。

今回の生活支援講演会を機に改めて支え合いの地域づくりを考えるきっかけになったのではないかと思います。



大分県副知事の吉田一生氏



清川町支え合いのまちづくり仕掛け人会



千歳町「支え合い活動」の報告

「必要とされる喜び」



矢野 大和 氏

≪講師プロフィール≫

昭和 31 年 7 月 7 日生まれ。大分県佐伯市宇目町出身。鷹鳥屋神社の宮司の長男として生まれ、現、神職。

宇目町役場（現：佐伯市宇目振興局）に就職し、教員委員会での生涯学習の仕事に携わる。佐伯市と合併後は、佐伯市観光大使として活動。平成 19 年 50 歳にて佐伯市役所を退職。

平成 23 年おおいた観光特使に任命されると、高校時代に始めた落語が高じて、話の中に笑いを入れることから講演を口演として活動。全国各地で毎年 400 回を超える口演を行う。まだまだ現役、「笑って元気！」いまも月 30 回以上の講演を目指して口演活動中。

第12回 豊後大野市地域福祉推進大会

スマホで申し込み
できます



とき 令和6年 2月 23日（金曜日/祝日）

ところ 神楽会館 多目的ホール（入場無料）

- 申込方法：電話、裏面申込書、右記の QR コードのいずれかにて、氏名、住所、電話番号をお知らせください。希望者は託児も可能です。
- 申込締切：令和6年2月9日（金）

※座席に限りがあります。申込状況によっては、入場をお断りさせていただく場合がございます。



「ぶんごる・つながる♪」

スマホ教室

を開催しています

スマホ初心者の方も、まだまだ勉強中の方も、
持っていない方も、参加大歓迎です 😊



基本操作



ライン



何でも相談

- * 対象：サロンや体操教室、地域の集いの場の方 5～10名
- * 場所：各町や区の公民館等
- * 時間：最大2時間
- * スマホの貸し出しもあります。



住民 スマホサポーターを募集しています !!



スマホ教室をお手伝いして下さる方を募集しています。
ラインが「ちょっと使えるくらい」で大丈夫です。
保険あり（社協が負担）、謝礼あり（交通費含む）。
【申込方法】社協各支部へ電話 または 二次元コードの読取 →



サポーター
申込み